



HUMAN RIGHTS & PEACE 第242号

人権と平和は
21世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1
TEL 924-6789 FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

企画展「芸能と差別」

～もうひとつの日本の歴史～

後期展示 10月19日(水)～11月27日(日)

前期展示に引き続き、絵本「もうひとつの日本の歴史」から、社会的差別が比較的希薄であった古代社会からスタートし、差別の原型が現れる中世、そして、民衆の居住地や職業が固定され、身分制度が確立するのに並行して、「被差別身分」が形成される近世までをパネルで紹介します。



もうひとつは、「阿波木偶箱（あわでこはこ）まわし保存会」の活動のうち、人形芝居を路傍（ろぼう）や民家の庭先などで演じた娯楽の芸「箱廻し」を紹介します。

「箱廻し」文化の継承には、社会問題としての差別を克服しなければならないという課題が伴います。「保存会」では、「部落差別によって消えようとしていた伝統芸を受け継ぐことが、差別をなくすことにつながる」との思いで活動を続けています。その作業は、古くから日本の社会に存在した多様な職能人に光をあてることにもつながり、歴史的・文化的にも意義深いものがあります。

箱廻し芸人は、二人か三人が一組となり、二つの木箱に4、5体の人形を入れて天秤棒で担ぎ、全国を移動して人形芝居を演じました。

人形（「ヒトガタ」）を遣（つか）う芸能者は、昔から一種の畏敬の念で見られており、呪術的な面影を色濃くしていました。

この木偶（でこ）廻しも、中世末から他の雑芸と結びついて人形芝居に発展しました。そして、近世に入って人形浄瑠璃として芸術的に完成され、能や歌舞伎とともにわが国の三大国劇として高い評価を受けるにいたりました。



傾城阿波の鳴門（版画）

ブルース
コンサート

山本シン

ブルースは

人権の塊

かたまり

日時：2016年11月19日（土）15時～16時30分

場所：福山市人権平和資料館 2F 企画展示室

（住所 福山市丸之内一丁目1-1／電話 084-924-6789）

～山本シンプロフィール～

1951年、福岡県田川市生まれ。1975年、「春一番」でデビュー。その後、関西と九州を活動の拠点に歌い続ける。時を経て、声に深みとやさしさを帯び、表現力がより自由に豊かに広がったことに瞠目する。いまだきこんなカッコいいブルースを歌える男がいることに驚きを憶えるはずです。